

ご当地デザインの逸品

47都道府県の、昔から受け継がれた、日常使う伝統工芸品が陳列されている。それぞれ独特の姿・形（デザイン）が懐かしい。在庫のあるものは即売され、在庫のないものは取り寄せてくれる。一般に、物産展などでお目にかかる品物だが、どこで買えるかが分からないことが多い。これは「売り場のデザイン」ができていないからだ、とする人たちが考えた企画展だ。



手前④⑤ 埼玉・田中帽子店、通学帽2.835円、麦わら帽子2.940円 手前⑥ 千葉・房州うちわ(柄長)2.310円 ⑥の茶碗 岐阜・丸直製陶碗1260円、小皿840円

全国から200種類を展示、壮観のニッポンビジョン展

「ディアンドデパートメントプロジェクト」の一環として開かれたのが、この「ニッポンビジョン展」。全国で継続的に販売する仕組みを目指す。二月には世田谷のセレクトショップ「ディアンドデパートメント」で開かれ、大阪、札幌と巡回している。

北海道から沖縄まで、各県の一、二点が並ぶのは壮観である。とりあえず群馬県を探す。利根沼田袋ぼうき四七二五円。数人の手作り職人が残っているだけという。お隣り埼玉では麦わら帽子、栃木では和田窯の湯呑。茨城はレジャーシート、千葉は房州うちわ、と続く。

東京から梨園染手拭、亀の子束子(たわし)、大阪からブリキタライ二五二〇円、兵庫からは日の丸扇型マッチで家庭用四二〇円、広島は宮島杓子一二六〇円(桑)、熊本の来民(くたみ)うちわ二二一〇円。

やはり食器類が多い。



青森 ④⑤⑥ 青森刺し針山六三〇円⑥ 青森刺しくるみぼたん四三〇ー七三三円

末広クラブ・逆井漫歩116 平成20年4月